

## 第4期八戸ポータルミュージアム中期運営方針（素案）への パブリックコメント結果と対応及び考え方について

1.募集期間 令和8年1月19日(月)から2月20日(金)まで

2.募集結果 意見数7件（個人2人）

### 3.ご意見の概要及び対応方針

No.	意見内容（概要）	対応及び考え方
1	<p>○親子交流支援プログラムの積極的展開</p> <p>はっちは開館以来、親子連れの「居場所」として多くの家族に利用されています。しかし、離婚・別居世帯が増加する中、子どもにとって両親との継続的な交流は心の安定と健全な成長に欠かせません。</p> <p>第4期では、定期的な「親子交流スペース」の確保や、NPO等と連携した面会交流支援イベント（例：工作教室、読み聞かせ、季節行事）を明記してください。</p>	<p>「こどもはっち」において、八戸市の委託を受けて、2024年7月より離婚や別居により、親と離れて生活している子どもが定期的・継続的に会って話をするため、面会交流サポート事業を実施しております。</p> <p>いただいたご意見は、中期運営方針のP10【7.居場所・仲間づくり】の項目「こどもはっち事業」に含まれているため、掲載内容の修正は行わないことといたします。</p>
2	<p>○共同親権・多様な家族形態への配慮</p> <p>2024年の民法改正により共同親権選択制が導入され、両親が協力して子育てする環境整備が全国的に求められています。</p> <p>はっちを「共同親権を実践する市民の場」として位置づけ、ワークショップや講演会（「共同親権って何?」「面会交流の工夫」など）を定期開催し、市民の意識啓発と実践支援を行ってください。</p>	<p>いただいたご意見は、子育て家庭支援策に関することであるため、市の関係各課へ情報提供することとし、掲載内容の修正は行わないことといたします。</p>
3	<p>○具体的な施策例</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.週末・夜間も利用可能な親子交流ルームの設置</li> <li>2.子どもの年齢に応じたプログラム(乳幼児～中高生)</li> <li>3.カウンセラーやコーディネーターの配置</li> <li>4.「未来を創ろう2030」の一環として「家族の絆を育むはっち」をサブテーマに追加</li> </ol>	<p>1～3のご意見は、子育て家庭支援に関することであるため、市の関係各課へ情報提供することとし、掲載内容の修正は行わないことといたします。</p> <p>4については、中期運営方針のP3で掲げる【目指す「8つの未来」】のうち、【6子育てが楽しくなる街】に含まれているため、新たなサブテーマに追加しないことといたします。</p>
4	<p>○方針策定の背景および成果の数値的評価について掲げる方針自体は理解できますが、これまでの5年間の成果が来館者数以外に十分示されていない印象を受けます。</p> <p>貸館利用率、事業参加者数、収支状況、市民満足度など、民間同様に数値による成果検証を示してい</p>	<p>数値で把握しているデータのうち、「入館者数」「施設利用件数」「視察・見学の受入数」の5年間の推移を付属資料に掲載いたします。</p> <p>また、事業への参加者数と収支状況については、八戸ポータルミュージアムのホームページで毎年公表しているアーカイブに記載することで対応しております。</p>

	<p>ただきたいと考えます。</p> <p>また、現場での試行錯誤や改善履歴を蓄積・公開することで、市民の理解と信頼が高まると考えます。</p>	<p>現場での試行錯誤や改善履歴の蓄積・公開については、基本的には内部の運用であり、公開しないものと考えておりますが、運営方針案では、P6【2.貸館事業】のうち、「運用改善のための利用者アンケートの実施」を掲載しており、今後の検討課題としたいと考えております。</p>
5	<p>○貸館事業の窓口対応について</p> <p>複数名で対応されていても最終的に職員が再対応する場面が見受けられます。</p> <p>対応品質の均一化のため、研修体制やマニュアル整備の強化をご検討ください。</p> <p>また、舞台担当者との事前打合せが申請書内容の確認にとどまる場合があり、利用者視点での改善余地があると感じています。</p>	<p>いただいたご意見は、中期運営方針のP6【2.貸館事業】に関するものですが、基本的には内部運用に係る意見のため、掲載内容の修正は行わないことといたします。</p> <p>貸館の窓口対応については、インフォメーション業務を委託しているVISITはちのへのスタッフと連携・情報共有を図るほか、はっち事務室内においても、マニュアルの更新を行うなど、利用者視点に沿った窓口対応に努めてまいります。</p> <p>舞台担当者との事前打ち合わせにおいても、貸館利用者と丁寧にコミュニケーションを取ることによって相互理解を深め、また打合せ表の項目見直しを随時行うなど単なる確認に終始することのないよう努めてまいります。</p>
6	<p>○ライトアップ事業について</p> <p>年末のライトアップ事業については、費用対効果や実施目的の成果が外部から見えにくいと感じました。</p> <p>事業費、来場者数、経済波及効果、市民満足度などの検証結果を公表していただきたいと思えます。</p>	<p>クリスマスに実施しているはっちとマチニワのライトアップは、関連企画と組み合わせて魅力向上のために行っているもので、経済波及効果を主な目的とするものではないため、費用対効果を見える形で示すのは困難であると考えております。</p>
7	<p>○「まちぐみ」との連携について</p> <p>八戸ポータルミュージアム はっちとまちぐみとの連携実績について、これまでの具体的事業内容と成果を開示していただきたいと考えます。</p> <p>成果指標と今後の目標値を明示することで、継続の妥当性がより明確になると思えます。</p>	<p>事業の成果につきましては、付属資料P4とP5【4.目指す「8つの未来」に沿った5年間の実績】で掲載いたします。</p> <p>事業内容につきましては、毎年公表しておりますアーカイブに掲載することで対応しております。</p>